

会計別予算額の内訳 [予算額・前年度比]

一般会計	142億2,100万円	-4.4%
特別会計	92億5,140万円	1.9%
国民健康保険特別会計	50億1,130万円	4.0%
老人保健特別会計	1,330万円	-95.9%
介護保険特別会計	24億9,300万円	2.0%
後期高齢者医療特別会計	3億1,920万円	10.6%
農業集落排水事業	7億1,220万円	72.8%
特環公共下水道事業	3億1,650万円	9.0%
流域関連公共下水道事業	3億8,590万円	-22.8%
公営企業会計	16億2,150万円	17.8%
水道事業会計	16億2,150万円	17.8%

予算合計 250億9,390万円

なめがた活カプランに基づく事業 (主要施策抜粋)

新交通公共システム事業	2,817万円
交通弱者のための循環バス及び乗合タクシー	
天王崎周辺開発事業	3,836万円
白帆荘の解体工事	
新市シンボル展開事業	620万円
公共施設へ市民憲章等の掲出	
公共サイン整備事業	1,852万円
国道等に市内への歓迎看板の設置	
合併振興基金	5億円
合併特例債による基金の造成	
し尿処理事業(貯留槽工事)	9,691万円
統合へ向けての予備貯留槽新設工事	
建築耐震化事業	96万円
一般木造住宅へ耐震診断士の派遣	
旧3町間境界確定事業	1,040万円
旧3町の不接合境界の確定	
産業立地推進事業	394万円
企業誘致の推進及び工業団地内市有地の管理	
県単農道整備事業	1,005万円
農道2路線 改良工事, 事業認可	
道路整備事業(防衛補助)	4,885万円
(玉)2153号線 用地補償	
道路改良舗装事業	2億4,681万円
15路線 設計, 改良舗装工事	
河川整備事業	1,800万円
武田川河川整備工事	
地域コミュニティー事業	1,100万円
再編交付金を基金運用して, 地域コミュニティー事業への助成	
地区集会施設整備事業	1,350万円
地区の集会施設整備補助	
消防施設管理整備事業	2,142万円
消防機庫・防火水槽	
救急救命市民ネットワーク事業	708万円
公共施設(25ヶ所)へ自動対外式除細動器を導入	

平成21年度 行方市 当初予算

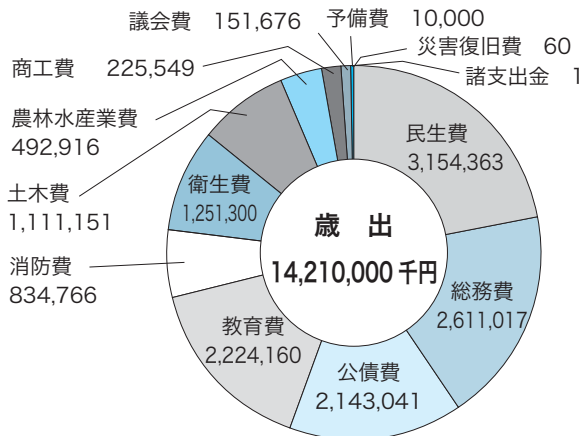
平成21年度行方市当初予算が3月定例会で議決されました。行方市の会計は一般会計、特別会計、公営企業会計に分けられます。各会計の予算額を前年度予算額と比べてみると、一般会計は6億4,800万円(4.4%)の減額、特別会計は1億6,890万円(1.9%)の増額、公営企業会計は2億4,488万円(17.8%)の増額となりました。

行方市の財政状況は、平成19年度決算の主要財政指標を見ると、経常収支比率が94.8%、実質公債費比率は17.6%と厳しい数値となっています。また、一般会計基金については、その残高は19年度決算において約18億2千万円から20年度決算見込額で約26億6千万円が見込まれます。

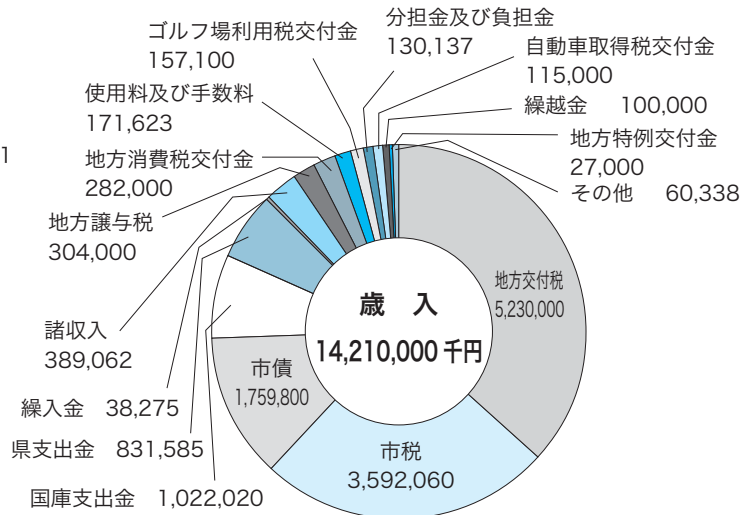
今後の歳入見込については、景気の後退局面により市税の増収は望めず、地方交付税や臨時財政対策債に依存する割合が高い状況に変わりはないと思われます。国や県からの補助金等についても「厳しく抑制」といった方針から、廃止・縮減が予想されます。一方、少子高齢化対策等の扶助費、広域事業への負担金や固定経費の増加により、政策的・投資的経費へ充当できる一般財源が、限られたものにならざるを得ない状況にあります。

平成21年度の予算編成に当たっては、行政改革大綱及び財政集中改革プランの双方を基軸に、市総合計画に基づく実施計画や新たに重点事業として位置付けた「活カプラン」の事業に優先的に予算配分をし、「事業のスクラップ&ビルド」、「事業の選択と集中」の考え方のもと、身の丈に合った予算規模を目指しました。

一般会計の歳出



一般会計の歳入



主要な施策の概要

やさしさあふれる健康福祉のまちづくり

救急救命市民ネットワーク事業として、自動体外式除細動器(AED)を、市内公共施設25箇所へ導入します。これにより市内全域への公共施設への整備が完了します。

子育て支援の事業は、放課後児童クラブの地域の格差解消のために、3箇所の増設を行い市内11箇所に拡充します。

豊かなところと、地域文化を育むまちづくり

学校等適正配置実施計画に基づき、21年度から、具体的な事業に入ります。計画に基づき麻生地区統合中学校校舎の設計業務等を行ってまいります。また事業実施中の玉造中学校については、講堂の改築工事を21年度から二年間の継続事業で実施します。北浦中学校については、駐輪場等の建設工事を行います。

外国語の指導助手招致事業では、新たに小学5、6年生を対象に、2人の講師が各小学校を巡回しながら英語教育を進めます。

地域資源が輝く、活力に富んだまちづくり

行方市の基幹産業の位置づけは、やはり農業であり、とりわけ水田農業経営の安定発展のためには、引き続き生産調整を進めていかなければなりません。このため、新たな転作物の導入を進めることにより、事業の実効性を図っていきます。

エコ農業の推進をはかり、化学肥料の使用を抑えた野菜栽培農家の補助金の交付を見込みました。

人と自然が共生する、ゆとりと潤いに満ちたまちづくり

消防防災体制の強化のため、消防機庫及び防火水槽の整備を行います。美化センターの維持補修は、年次的に点検整備、維持補修が必要となつていくところですが、28年度の大規模改修時期を前に、必要な修繕等を行っていきます。それとともに、市民の皆様に、ごみの分別収集について、一層の理解と協力を願えるよう、啓発の事業等を行っていきます。

住環境の整備については、建設耐震化事業の中で、耐震改修促進計画の下、建築物の耐震を促進し、一般木造住宅の耐震診断士派遣事業を展開していきます。

快速に暮らせる住み良いまちづくり

道路交通体系の整備については、国の特定防衛施設周辺整備事業や、再編交付金事業、防衛施設周辺道路整備事業の補助金制度を活用し計画的に関連する道路整備を実施します。基盤整備促進事業や県単農道整備事業については、事業の集約化や効率性を考え合わせ、道路改良舗装事業の中で、集約して道路新設改良事業を行います。

【問合せ先】

財政課 (麻生庁舎)

FAX ☎
029917210811
029917213226

麻生小学校施設整備事業	2,000万円	耐震化及び老朽に伴う改修工事設計
玉造中学校施設整備事業	2億9,187万円	講堂及び正門等屋外附帯工事
麻生地区統合中学校施設整備事業	5,325万円	麻生地区の中学校統合へ向け、委員会の設置及び基本・実施設計
北浦中学校施設整備事業	7,959万円	駐輪場・部室・屋外トイレ等の整備
文化財保護費 (案内板作成)	300万円	文化財に案内看板を設置
ブックスタート事業	36万円	本を読む習慣を0歳児から育む
特定防衛施設周辺整備事業 (道路)	7,605万円	(玉) 60号線 舗装工事
道路整備事業 (再編交付金)	1億850万円	(玉) 1828号線他3路線 舗装工事